

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場会社名 鬼怒川ゴム工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5196 URL <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関山 定男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 北沢 浩

TEL 043-259-3114

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	36,839	26.4	2,624	1.7	2,700	2.8	1,798	18.8
21年3月期第3四半期	50,073		2,669		2,777		1,513	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	26.79	
21年3月期第3四半期	22.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	43,231	11,676	24.9	160.37
21年3月期	41,687	10,023	22.0	136.61

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,766百万円 21年3月期 9,173百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		3.00	3.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期 期末配当予想4円00銭には、記念配当1円00銭が含まれております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	15.1	3,700	67.6	3,700	79.1	2,400	229.2	35.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 67,299,522株 | 21年3月期 | 67,299,522株 |
| 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 163,036株 | 21年3月期 | 153,560株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 67,140,738株 | 21年3月期第3四半期 | 67,159,931株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府のエコカー減税やエコポイント制度などの経済対策もあり、一部では景気が持ち直してきておりますが、設備投資は大幅に減少し失業率は高水準で推移するなど、依然として厳しい状況にありました。

当社の主要得意先の自動車生産は、国内は第3四半期が対前年比でプラスとなったものの累計期間では約2割の減少、海外は好調が続く中国が約4割の増加となりましたが、北米・欧州は約3割の減少となるなど、グローバルでは約2割の減少という状況であり、世界生産の完全な回復にはまだ相当の時間を要するものと思われます。

売上高の回復が期待できない環境のもと、当社グループは、徹底的なコストの削減と財務体質の改善による利益と資金の確保を最優先に取り組んでまいりました。

車体シール事業は、グローバルでの「モノ造り力」向上を目的としたKPIによるベストプラクティス活動に取り組んでいます。また、固定費の削減や在庫の削減、素材・設備・金型などの現地化、汎用化、共用化にも積極的に取り組み、当第3四半期連結会計期間では車体シール事業全拠点で黒字化を達成しました。事業拡大については、今後急成長する中国をはじめとする東アジア地区を中心に活動を進めております。

防振事業は、他事業と比較していち早く生産増となりましたが、グループ内での応援体制により人員増を抑止し、国内2拠点とタイ拠点において現場力向上活動による生産性、品質改善を集中的に展開し、生産体制の効率化につなげて収益を確保いたしました。

精密エラストマー事業は、受注変動に柔軟に対応するためのグループ間生産応援や、国内ホース部品生産拠点の統廃合、徹底した在庫削減活動を行いました。また、第2四半期連結累計期間で赤字であった建機用ホース事業は、当第3四半期連結会計期間において黒字化を実現いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、368億3千9百万円（前年同期比26.4%減）となりました。部門別の売上高は、車体シール部品は166億4千1百万円（前年同期比27.5%減）、防振部品は84億4千8百万円（前年同期比16.7%減）、プレーキ部品は82億3千7百万円（前年同期比22.7%減）、その他製品は28億3千5百万円（前年同期比47.0%減）、その他事業は6億7千5百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

損益につきましては、大幅な売上高減少の中、グループをあげて取り組んだ総コストの削減効果により、ほぼ前年同期並みの利益を確保し、営業利益は26億2千4百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益は27億円（前年同期比2.8%減）、四半期純利益は17億9千8百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

なお、所在地別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、302億8千8百万円（前年同期比24.8%減）となりました。営業利益につきましては、合理化効果により、23億7千8百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

[北米]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、18億4千7百万円（前年同期比53.4%減）となりました。営業損益につきましては、懸命なコスト削減にもかかわらず、3億3百万円の損失（前年同期は3千8百万円の利益）となりました。

[東アジア]

売上高は、中国国内は増加しましたが、中国生産の欧州向け、タイ・台湾の低迷により、47億2百万円（前年同期比19.1%減）となりました。営業利益につきましては、操業度の低下により、5億2千万円（前年同期比16.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が6億3千万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が31億9千8百万円増加したことなどにより、27億2百万円増加の183億4千6百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が10億3千1百万円減少したことなどにより、11億5千9百万円減少の248億8千4百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、15億4千3百万円増加の432億3千1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が22億9千4百万円増加しましたが、短期借入金14億3千3百万円、未払法人税等が2億1千2百万円減少したことなどにより、3億7千1百万円減少の211億8千万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が3億1千5百万円増加したことなどにより、2億6千2百万円増加の103億7千4百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円減少の315億5千4百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が15億9千7百万円増加したことなどにより、16億5千2百万円増加の116億7千6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、最近の経済情勢及び業績動向を踏まえ、修正しております。詳細につきましては、平成22年1月21日に公表しました内容のとおりであります。売上高の増加に加え、前年度から継続して活動しているグループでの様々な合理化施策の効果により、営業利益・経常利益・当期純利益ともに前回予想を上回り、連結売上高は500億円、連結営業利益及び連結経常利益は37億円、連結当期純利益は24億円を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の製品棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

経過勘定科目の算定方法

固定的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税等調整額」は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,197,152	2,827,835
受取手形及び売掛金	10,631,965	7,433,772
商品及び製品	2,051,124	1,972,370
仕掛品	1,022,262	1,024,352
原材料及び貯蔵品	1,306,376	1,608,212
その他	1,228,855	865,651
貸倒引当金	90,924	88,126
流動資産合計	18,346,812	15,644,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,606,779	5,923,063
機械装置及び運搬具(純額)	4,739,462	5,442,496
工具、器具及び備品(純額)	972,567	1,281,678
土地	10,391,003	10,379,005
建設仮勘定	711,579	426,503
有形固定資産合計	22,421,392	23,452,746
無形固定資産		
のれん	157,805	197,438
その他	517,962	591,432
無形固定資産合計	675,768	788,870
投資その他の資産		
投資有価証券	1,215,512	1,178,946
その他	593,370	644,423
貸倒引当金	21,554	21,431
投資その他の資産合計	1,787,327	1,801,938
固定資産合計	24,884,488	26,043,556
資産合計	43,231,301	41,687,624
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,843,634	4,549,371
短期借入金	7,913,251	9,347,235
1年内返済予定の長期借入金	3,441,719	3,523,515
未払費用	931,220	581,898
未払法人税等	279,642	491,933
賞与引当金	416,947	667,186
その他	1,353,964	2,390,505
流動負債合計	21,180,380	21,551,646

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	5,676,018	5,360,161
退職給付引当金	1,774,254	1,756,790
役員退職慰労引当金	152,751	165,599
製品保証引当金	8,666	60,051
負ののれん	2,390	9,562
その他	2,760,036	2,759,937
固定負債合計	10,374,117	10,112,103
負債合計	31,554,498	31,663,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	621,302	621,302
利益剰余金	3,163,571	1,566,531
自己株式	29,711	28,226
株主資本合計	9,409,747	7,814,192
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,392	4,549
繰延ヘッジ損益	-	134
土地再評価差額金	2,229,771	2,229,771
為替換算調整勘定	871,615	866,450
評価・換算差額等合計	1,356,763	1,358,906
少数株主持分	910,291	850,775
純資産合計	11,676,803	10,023,874
負債純資産合計	43,231,301	41,687,624

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	50,073,785	36,839,636
売上原価	42,340,716	30,233,652
売上総利益	7,733,069	6,605,983
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	1,038,834	629,585
従業員給料	1,334,324	1,270,775
法定福利及び厚生費	295,011	289,414
退職給付費用	83,809	101,109
賞与引当金繰入額	179,309	69,776
役員退職慰労引当金繰入額	33,184	24,890
減価償却費	180,320	148,383
賃借料	210,199	172,896
消耗品費	94,339	80,666
のれん償却額	20,978	39,632
その他	1,593,534	1,154,779
販売費及び一般管理費合計	5,063,848	3,981,910
営業利益	2,669,221	2,624,073
営業外収益		
受取利息	13,848	5,979
受取配当金	9,272	2,344
負ののれん償却額	7,171	7,171
持分法による投資利益	303,659	215,982
固定資産賃貸料	65,328	66,063
その他	158,465	141,941
営業外収益合計	557,746	439,482
営業外費用		
支払利息	296,650	241,922
その他	152,560	120,768
営業外費用合計	449,210	362,691
経常利益	2,777,757	2,700,865
特別利益		
固定資産売却益	8,093	5,086
受取保険金	14,946	-
保険解約返戻金	-	22,357
その他	14,904	1,445
特別利益合計	37,944	28,888

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	96,187	28,746
固定資産売却損	13,600	-
減損損失	79,553	-
割増退職金	-	62,898
その他	58,679	18,479
特別損失合計	248,021	110,124
税金等調整前四半期純利益	2,567,681	2,619,629
法人税等	942,963	796,368
過年度法人税等戻入額	-	30,645
少数株主利益	110,735	55,429
四半期純利益	1,513,983	1,798,478

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,567,681	2,619,629
減価償却費	2,193,094	1,936,437
のれん償却額	13,807	32,461
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	2,745
退職給付引当金の増減額(は減少)	151,963	17,463
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	9,374	12,848
受取利息及び受取配当金	23,121	8,323
支払利息	296,650	241,922
投資有価証券売却損益(は益)	3,765	-
有形固定資産売却損益(は益)	8,093	5,086
有形固定資産除却損	96,187	28,746
減損損失	79,553	-
持分法による投資損益(は益)	303,659	215,982
売上債権の増減額(は増加)	2,377,273	3,195,773
たな卸資産の増減額(は増加)	446,677	223,697
仕入債務の増減額(は減少)	758,008	2,388,152
未払消費税等の増減額(は減少)	22,573	66,875
その他	1,320,173	1,355,882
小計	4,595,589	2,764,235
利息及び配当金の受取額	244,293	229,845
利息の支払額	296,203	241,390
法人税等の支払額	610,531	962,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,933,148	1,790,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	20,497	-
有形固定資産の取得による支出	1,693,259	987,284
有形固定資産の売却による収入	67,140	28,673
その他	123,053	38,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,728,674	997,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	558,269	1,429,281
長期借入れによる収入	1,301,800	3,520,000
長期借入金の返済による支出	2,976,639	3,293,279
社債の償還による支出	200,000	-
自己株式の取得による支出	4,472	1,484
配当金の支払額	201,514	201,437
少数株主への配当金の支払額	7,089	10,918
その他	504	9,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,530,151	1,425,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	76,209	1,491
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	598,113	630,682
現金及び現金同等物の期首残高	1,637,589	2,827,835
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,235,702	2,197,152

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	東アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	40,296,688	3,966,722	5,810,374	50,073,785		50,073,785
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	758,384		417,118	1,175,502	(1,175,502)	
計	41,055,072	3,966,722	6,227,493	51,249,288	(1,175,502)	50,073,785
営業利益	1,987,152	38,339	626,090	2,651,582	17,639	2,669,221

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米.....米国

(2) 東アジア.....中国、台湾、タイ

3 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、日本の営業利益が54,954千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	東アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	30,288,931	1,847,860	4,702,845	36,839,636		36,839,636
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	530,715	13,052	247,912	791,679	(791,679)	
計	30,819,646	1,860,912	4,950,758	37,631,316	(791,679)	36,839,636
営業利益又は営業損失()	2,378,465	303,031	520,281	2,595,715	28,358	2,624,073

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米.....米国

(2) 東アジア.....中国、台湾、タイ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	東アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	4,100,727	5,938,379	28,502	10,067,609
連結売上高(千円)				50,073,785
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.2	11.9	0.0	20.1

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	東アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	1,944,813	4,880,376	30,606	6,855,796
連結売上高(千円)				36,839,636
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.3	13.2	0.1	18.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米.....米国

(2) 東アジア.....中国、台湾、タイ

(3) その他の地域...イギリス他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年3月期 第3四半期 決算概要

[連結決算]

1. 業績

(単位:百万円未満切捨て)

区分	当第3四半期実績 (21/4~21/12)		前第3四半期実績 (20/4~20/12)		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	36,839	100%	50,073	100%	13,234	26.4%
営業利益	2,624	7.1%	2,669	5.3%	45	1.7%
経常利益	2,700	7.3%	2,777	5.5%	77	2.8%
四半期純利益	1,798	4.9%	1,513	3.0%	285	18.8%
1株当たり 四半期純利益	26.79円		22.54円		4.25円	
連結子会社数 []内訳 持分法適用会社数	23社 [国内:12、海外:11] 3社		21社 [国内:12、海外:9] 3社		2社 [国内:-、海外:2] -	

2. 貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

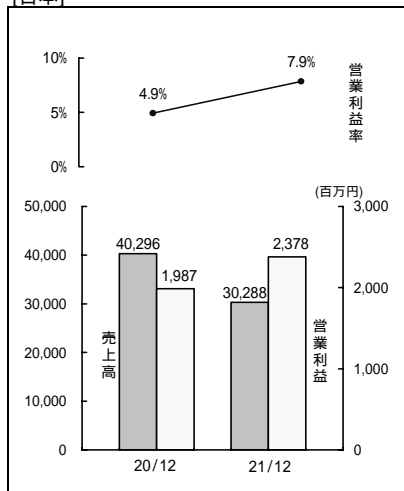
資産の部				負債・純資産の部			
科目	第3四半期	前期	増減	科目	第3四半期	前期	増減
流動資産	18,347	15,644	2,703	流動負債	21,180	21,552	372
現・預金	2,197	2,827	630	買入債務	6,844	4,549	2,295
売掛債権	10,632	7,433	3,199	借入金	11,355	12,870	1,515
棚卸資産	4,380	4,604	224	その他	2,981	4,133	1,152
その他	1,138	780	358	固定負債	10,374	10,112	262
				借入金	5,676	5,360	316
				退職給付引当金	1,774	1,756	18
				その他	2,924	2,996	72
				(負債計)	31,554	31,664	110
固定資産	24,884	26,044	1,160	株主資本	9,410	7,814	1,596
有形固定資産	22,421	23,453	1,032	資本金	5,654	5,654	0
無形固定資産	676	788	112	資本剰余金	621	621	0
投資その他	1,787	1,803	16	利益剰余金	3,164	1,567	1,597
				自己株式	29	28	1
				評価・換算差額等	1,357	1,359	2
				少数株主持分	910	851	59
				(純資産計)	11,677	10,024	1,653
合計	43,231	41,688	1,543	合計	43,231	41,688	1,543

注)主なB/S指標

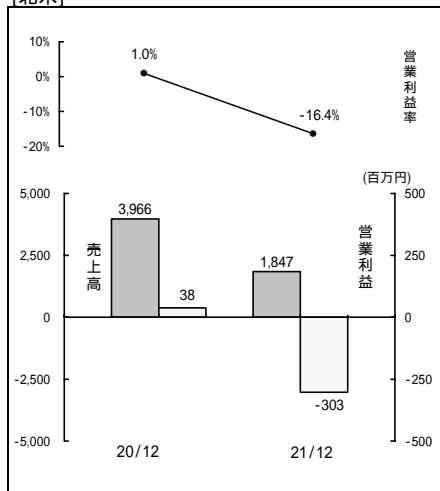
自己資本比率	24.9%	22.0%	2.9%
総資本回転率	1.2回	1.3回	0.1回
総資本経常利益率	8.3%	4.4%	3.9%
DER	1.5倍	1.8倍	0.3倍

3. 所在地別セグメント情報

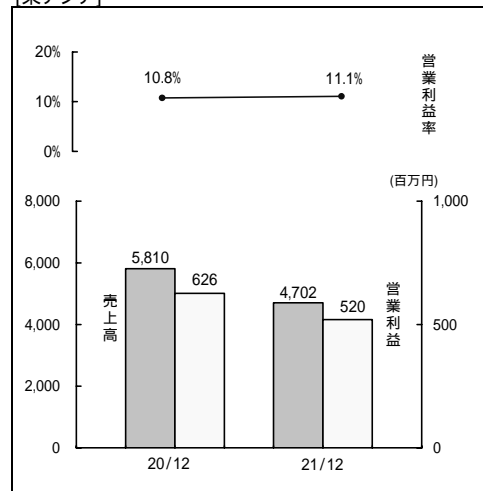
[日本]



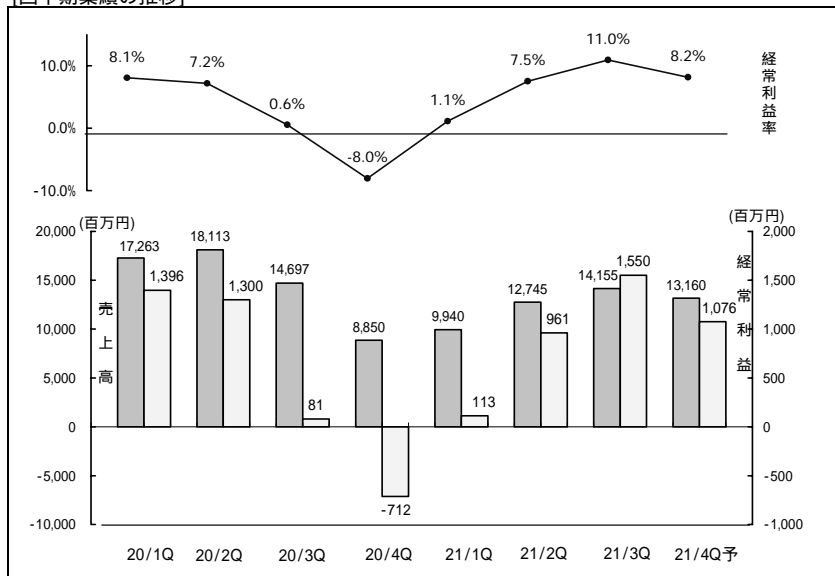
[北米]



[東アジア]



[四半期業績の推移]



[当第3四半期の主な活動内容]

1. 低操業下での設備投資の圧縮及び在庫日数・金額の削減による必要資金の確保
2. 高効率生産ラインの構築と拠点間ベンチマーク活動によるモノ造り力の向上
3. 素材・設備・金型などの現地化、汎用化、共用化の推進
4. 技術開発品による既顧客への拡販及び新規顧客の獲得 (トヨタ・ホンダ・二輪・他)
5. 第3次購買コスト削減活動(NP10活動)の推進
6. 国内グループ会社間での応援体制ならびに間接業務の効率化